

会議録【要点筆記】

会議名称	令和5年度第1回米沢市行政経営市民会議																															
開催日時	令和5年7月4日（火） 午後3時00分～午後5時00分																															
開催場所	米沢市役所 3階 庁議室																															
出席者	<table><thead><tr><th></th><th>（委員等氏名）</th><th>（所属団体等）</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員長</td><td>神原祐哉</td><td>神原法律事務所</td></tr><tr><td>委員</td><td>石川栄樹</td><td>会社員</td></tr><tr><td>委員</td><td>岩崎令子</td><td>米沢観光コンベンション協会</td></tr><tr><td>委員</td><td>大竹 茂</td><td>山形おきたま農業協同組合</td></tr><tr><td>委員</td><td>菊地 智</td><td>山形銀行米沢支店</td></tr><tr><td>委員</td><td>岸 弘行</td><td>米沢公共職業安定所</td></tr><tr><td>委員</td><td>杉本俊之</td><td>山形大学</td></tr><tr><td>委員</td><td>田中明子</td><td>米沢商工会議所</td></tr><tr><td>委員</td><td>保刈恵美子</td><td>社会福祉法人米沢中央保育園</td></tr></tbody></table>			（委員等氏名）	（所属団体等）	委員長	神原祐哉	神原法律事務所	委員	石川栄樹	会社員	委員	岩崎令子	米沢観光コンベンション協会	委員	大竹 茂	山形おきたま農業協同組合	委員	菊地 智	山形銀行米沢支店	委員	岸 弘行	米沢公共職業安定所	委員	杉本俊之	山形大学	委員	田中明子	米沢商工会議所	委員	保刈恵美子	社会福祉法人米沢中央保育園
	（委員等氏名）	（所属団体等）																														
委員長	神原祐哉	神原法律事務所																														
委員	石川栄樹	会社員																														
委員	岩崎令子	米沢観光コンベンション協会																														
委員	大竹 茂	山形おきたま農業協同組合																														
委員	菊地 智	山形銀行米沢支店																														
委員	岸 弘行	米沢公共職業安定所																														
委員	杉本俊之	山形大学																														
委員	田中明子	米沢商工会議所																														
委員	保刈恵美子	社会福祉法人米沢中央保育園																														
欠席者	<table><thead><tr><th></th><th>（委員等氏名）</th><th>（所属団体等）</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員</td><td>相田正史</td><td>米沢信用金庫</td></tr><tr><td>委員</td><td>佐藤幸治</td><td>連合山形置賜地域協議会</td></tr><tr><td>委員</td><td>中川 恵</td><td>米沢女子短期大学</td></tr><tr><td>委員</td><td>長谷川大輔</td><td>社会福祉法人緑成会 成島園</td></tr><tr><td>委員</td><td>兵庫浩子</td><td>公募</td></tr></tbody></table>			（委員等氏名）	（所属団体等）	委員	相田正史	米沢信用金庫	委員	佐藤幸治	連合山形置賜地域協議会	委員	中川 恵	米沢女子短期大学	委員	長谷川大輔	社会福祉法人緑成会 成島園	委員	兵庫浩子	公募												
	（委員等氏名）	（所属団体等）																														
委員	相田正史	米沢信用金庫																														
委員	佐藤幸治	連合山形置賜地域協議会																														
委員	中川 恵	米沢女子短期大学																														
委員	長谷川大輔	社会福祉法人緑成会 成島園																														
委員	兵庫浩子	公募																														
事務局出席者	副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、総務課長、財政課長、政策企画課長、教育総務課長、政策企画課長補佐、政策企画課経営政策主査、政策企画課主任（経営政策担当）、政策企画課主事（経営政策担当）																															
会議次第	1 開会 2 委員長及び副委員長選出 3 委員長あいさつ 4 議事 （1）第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について （2）デジタル田園都市国家構想交付金の実績について （3）第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び米沢市人口ビジョンの改訂について （4）公共施設等総合管理計画について（今年度の予定） 5 その他 6 閉会																															
会議資料	00_委員名簿 01_次第 02_資料 1-1_第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート 03_資料 1-2_数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の県内他市との比較について 04_資料 2_デジタル田園都市国家構想交付金の事業評価 05_資料 3_第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び米沢市人口ビジョンの改訂について 06_資料 4_米沢市公共施設等総合管理計画に係る事業実績状況について																															

会議内容	
【1 省略】 【2 委員長及び副委員長選出】 米沢市行政経営民会議条例第5条第1項により、正副委員長を互選。委員長に神原祐哉委員、副委員長に中川恵委員が選任された。 【3 委員長あいさつ】 私が一番若輩者だと思うので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。普段、弁護士ということでこのような会議の委員というのは光栄でもあり緊張する面もございますが、よろしくお願いします。 【4 議事】 (1) 第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について (資料1-1、1-2について事務局より説明)	
委員	資料1-1の1ページの地元大学生の地元就職を促進しようという件だが、目標値が24%と高い目標値というのは大学側としての考えも含まれているのか。
事務局	大学に対する市の取組は、学園都市推進協議会を通じて学生がまちづくりに関わることで本市に興味を持ってもらうきっかけを作る事業であり、就職に関して学生に米沢市内に就職をしてもらうような取組はなく、目標値には大学の考えも含めてはいない。
委員	一部上場企業のような有名企業に行きたいという学生の意向や優秀な学生を育てたいという大学側の思いがあると思うので、この数値を達成すること自体が難しいと思う。学生の質を高める方向に目標をシフトした方がいいものになるのではないか。県内に残ってほしい気持ちもわかるが、学生が勉強しやすい環境を作るなど学生側を支援する目標がいいのではないか。
事務局	地域と関わり合いを持つことで学生が米沢に残る例もある。学生への様々な支援や戻ってきてもらえる取組で若い力を引っ張ってこることも重要だと思う。まち・ひと・しごと創生総合戦略の次期戦略への改訂もあるので、目標設定をする際には大学側も含めて検討していきたい。
委員	資料1-1のKPIで横線が引かれて数値が入っていないのは、新しく出てきた取組という解釈であっているか。
事務局	数値的な目標が設定できないものは施策の中でKPIを設定していないということで横線を引いている。
事務局	進捗率の横線は、新型コロナウイルス感染症などにより基準値より大きく下回ったものがあり、現状値と基準値を比べて進捗率を出すと大きくマイナスになることから、進捗率は延べ数で計算できるもののみを記載し、それ以外は横線表記としている。

委員	大きく数値が悪くなっているから載せないというのではなく、悪くなったとしても原因とともに載せる方がいいのではないかと。KPI 指標の数値が低いということを把握してフィードバックする状況になっているか。
事務局	KPI については検証を行い、その結果を次期戦略へフィードバックしていきたい。
委員	KPI の定め方が上手くいっている目標と上手くいっていない目標があると思うので、今回の評価を生かして年度ごとにフィードバックをかけることができる KPI の作り方が必要だと思う。
委員	資料 1-1 の 2 ページの農業人材力強化総合支援事業で、人・農地プランを国の戦略に従って進行しているわけだが、人手不足が顕著になっており、地域に根差した農業の担い手育成に至っていない実感がある。農家の自助努力では限界があるため官民一体となって対策をしていかないと厳しい。
事務局	KPI は林業従事者を含む新規就農者数延べ 50 人と設定し、現状では予定のとおり推移している。新規就農者のうち親元就農や新規参入者は大変少ない一方で、法人等への雇用就農が多いと考えている。地域の農業を支えていく親元就農や新規参入者をしっかりと増やしていく取組が必要だと思うので、計画の見直しにあたり KPI 指標の設定を工夫していきたい。
委員	子どもや孫に農業をやらせたくないという声があり農林業界が崩壊寸前にあるのを感じる。今、手を打たないと米沢市の農業は崩れるのではないかという危機感を持ちながら進めていかないといけない。新規就農で若者を育てるにあたって人手不足である現状では行政の力も必要だと思う。 置賜定住自立圏構想の事業として米沢牛ブランドの連携という話も聞いていたがどうだったのか。
事務局	置賜定住自立圏は 3 市 5 町で連携をして実施しており、定住自立圏のビジョンも今年度で終了になる。来年度から改めて 5 年間の計画を作りたいと考えており、3 市 5 町で共通する米沢牛に関して再度連携して進めていきたい。
委員	保育園の園児は新型コロナウイルス感染症の影響で減少傾向にある。子どもを産まない家庭や一人っ子でいいという考えの方もいれば、5 類移行になってからご懐妊されたという方もいて、状況を見ているところだ。
委員	資料 1-2 の 3 ページの特定健診の受診率の向上で、尾花沢市が 1 位というのは何か工夫していることがあるかを調査しているか。

事務局	直接対策を確認しているわけではないが、地域格差というのは地区の意識の違いと地区の方々への働きかけの違いというものが大きく出ていると確認している。 現在、米沢市は医師会と連携して受診率の向上に向けた取組をしている。昨年度からは、受診率向上のために4月から健診が出来るようになるなど、様々な視点から取り組んでいる。市民への働きかけという点で、参考になるものがあれば取り入れるように心がけていきたい。
委員	自主防災組織の組織率で米沢市が最下位になっているが、何か理由はあるか。
事務局	本市の自主防災組織率は、郊外はほぼ100%の組織率だが市街地の組織率が低い状況である。大きな理由として、本市は雪害以外に大きな災害があまり発生していないということから市民が切実に必要性を感じていないということや行政と地域の連携の弱さが考えられる。現在、対応をどうしていくか検討している。
委員	災害が少ないということの裏返しとを考えてもいいのか。自主防災組織の組織率は100%を目指したいということか。
事務局	組織率は100%を目指していきたいが100%だからいいのではなく、しっかりと災害時に対応できるような組織化を目指していきたい。
委員	KPIをどうやって設定していくかが重要だと思うが、KPI設定にあたって国のガイドラインはあるか。
事務局	特にガイドラインはない。施策を進めていくにあたり数値目標を持つことは重要な視点となるため、KPIの設定については今後検討していきたい。
委員	KPIを達成しないことでペナルティはあるのか。
事務局	国からKPIを設定するよう言われているが、未達成でもペナルティはない。
委員	KPIの数値に縛られず、やるべきことをやっていただければと思う。
委員	新型コロナウイルス感染症で抑えられていた観光誘客が一気に盛り上がり、2月の雪灯籠まつりでは人が行き交うのが大変なくらいに賑わった。上杉まつりもかなりの人がいたので、夏祭りも賑わうのかなと思っている。 資料1-2を見ると東根市だけ転入転出がプラスになっている。米沢市は転出が多く人口が増えないので、どうして米沢市に移住して来たのかなどの理由を観光にも活かしていければと思う。

事務局	令和4年の社会増減－100人は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、今年3月期の数字だけを見るとかなり転出者が多くなっている。 米沢の魅力を十分に発信していくことが地方創生の戦略として重要なことだと思っているので、様々な施策を進めることによって転出者の抑制に努めていきたい。
委員	インバウンドは急回復が見られているが、米沢市においても更なるインバウンドの回復が見られた場合、働き手の確保やIターンで米沢市の企業で働きたいという希望があっても住まわせるところがないという経営者の悩みも聞こえてきたので、総合的に見ていく必要があると思う。 また、高校新卒者の地元企業で働きたいというニーズはあるが、高校生の働き先は親御さんの意向がかなり影響されることや親御さんが地元企業を知らないということから有名企業に流れてしまう傾向がある。小学校や中学校のうちから地元企業を親御さんに知ってもらう活動をしていきたいということを他市町村で言っており、いい取組だと感じた。
事務局	令和7年に米沢工業高校と米沢商業高校が（仮称）米沢産業高校に統合するため、地元に着定してほしいということで両校と米沢商工会議所、米沢市でコンソーシアムを作り、意見交換をしている。最近の傾向として親御さんが地元に残ってほしいと言わないということを校長先生からも聞いている。米沢商工会議所と一緒に米沢地域人材確保定着促進事業を実施し情報発信に取り組んでいるが、現実的に定着しておらず、更なる情報発信の工夫が必要だとコンソーシアムでも意見が出たところだ。 インバウンドでは5月に米沢市内の温泉にチェコやハンガリーの外国人の方が20組ほどお越しになったという話もある。旅館や市内の飲食店でも人手不足だということがあったので、なんとかしていかなければならない課題だと捉えている。
委員	先日、県内高校生の就職希望者が2,000人を下回ったという記事が出た。米沢管内でも20年前と比べると半分以下の就職希望者になっており、これまで米沢管内の就職希望者が300人を下回ったことはなかったが、初めて300人を下回った。急激に就職希望者が増えるということは考えられないので、一人でも多くの生徒を地元に残す取組しかないと感じている。 また、地元に残ったり県外から移住したりする時に雪が障害になっていると感じているが、米沢市の雪対策はしっかりされているか。 山形大学の学生が県外に行ってしまう理由として、魅力のある求人が県外に多くあるからだと思っている。県外に就職したとしても、結構な割合で地元に戻ってくる方がいる。そういった方をスムーズに受け入れることも大事だと思う。
事務局	米沢市の雪は多いが、除雪はしっかり行っている。また、子育てに関して市民からの声が多かった冬期間の子どもの遊び場がないという要望から今秋に屋内遊戯施設が完成する。雪が降っても子どもが遊べる施設になることから、雪対策になるのではないかと考えている。

親御さんが地元以外を希望されるというのは、親御さんや子どもが地元企業を知らないという状況があるので、現在中学生に対して地元企業紹介の情報発信をしており、今後も情報発信をしていきたい。さらに、米沢に戻ってきても受け入れられるような視点も必要だと思うので、今年度市民や大学生、短大生、転出者向けにアンケートを実施し、米沢市にどのようなものが必要かの声を聴きたいと考えている。アンケート結果を踏まえて施策を進めていきたい。

委員

資料 1-1 の 3 ページに記載の「米沢地域人材確保定着促進事業」で商工会議所では高校生の地元就職支援などを行っている。目標値が 1 万人と大変高い目標になっており、毎年対象の学生が変わるので 1 万人は厳しい数字だと感じた。

山形大学工学部の学生が県外に就職してしまう点については、昨年度山形大学の各コースの教授と地元企業との懇談会を開催した。先生方には地元企業を知ってもらい、地元企業には学生が工学部でどのような学習をしているのか、就職してもらった場合どのようなマッチングが出来るのかなどを知っていただく目的で開催した。大変好評で今年も 8 月に 2 回目の懇談会を開催する。

学園都市推進協議会の総会で山形大学の副学部長がお話しされていたが、工学部では卒業生を地元就職させたいという思いがある。地元就職の促進を米沢市と商工会議所も一緒になって取り組んでいければいいと思う。

人手不足が深刻で、市外から人を呼び込んでくる UIJ ターンで数字を伸ばすのは難しいと思う。地元 3 大学で何千人という学生がいるので、一人でも多くの方に米沢市に残っていただけるような取組が出来ればと思う。

委員

先ほど、雪は大変だという話もあったが、台湾人には雪はとても魅力的なもので米沢の魅力の一つでもある。

委員長

KPI の設定にあたってガイドラインなどはないという回答だったが、目的に応じた設定が可能だと思うので、年度末ごとに検証をした方がいいと感じる。

また、新潟県三条市では地域おこし協力隊の力を活用して企業側のニーズを把握して移住希望者とのマッチングを行う面談体制や移住者同士のネットワークが作られている事例もある。最初の就職先で上手くいかなかった場合の次の選択肢があるかでも変わってくるので、次の手立てが出来る体制も必要だと思う。

- (2) デジタル田園都市国家構想交付金の実績について
- (3) 第 2 期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び米沢市人口ビジョンの改訂について
- (4) 公共施設等総合管理計画について（今年度の予定）
（資料 2、資料 3、資料 4 ついて合わせて事務局から説明）

委員	資料 2 の西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリアリボーンプロジェクトでエリア一体を整備しなおすということだが、米沢市を流れる松川は昭和 10 年代半ばから鉱毒で汚れた川になり、国の予算も投入されたが抜本的な改善には至っていない。滝が多く、風光明媚な松川を地元の財産として放置しておくのはもったいないので、川の清流化を目指しつつ、遊歩道やトレッキングなどが出来るように整備していただければと思う。このような思いの市民も数多くいるはずなので、この川を何とかしていかなければならないという提案である。
事務局	松川の河川環境については、県で pH 値の改善事業はやっているものの、上流まで改善するのは難しい状況となっている。市では重要事業として県に要望しており、改善には長い時間を要するため、観光資源としてリボーンプロジェクトの中で今すぐに取り組むというのは難しい。観光行政の中で御意見も踏まえながら考えていかなくてはならない問題だと思っているので今後検討していきたい。
委員	資料 4 の 3 ページに青果市場の老朽化に伴う施設整備と書かれているが、隣の魚市場も老朽化している。魚市場と一体的な整備は検討しているか。人手不足や物流を考え効率化を図って進めるためには、卸売団地の中で魚市場と青果市場が一体となって取り組んだほうが良いと思う。
事務局	青果物市場は公設民営、魚市場は民設民営で行っている。新たな青果物市場は民設民営の手法で取り組もうとしているが、物価高騰で生産資材も上がっていることから、一時的に整備を中断している。魚市場の具体的な改築などの話については直接お聞きしていないため、まずは、市では民設民営の青果物市場を進めていきたいと考えている。
委員	資料 3 で改訂されるデジタル田園都市構想総合戦略の基本目標にはデジタルという言葉が出てこないが、これまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容を引き継いで実施するという考えか。
事務局	国でもこれまでの 4 つの基本目標は変えないということにしているので、地方創生の取組が変わるものではない。デジタルの力を活用しながら地方創生の取組を加速化させるために、これまでの基本目標を達成するためデジタルの力を加えた内容としてまとめていきたい。
委員	資料 3 に「③誰一人取り残さないための取組」があるが、デジタル化ではどうしても誰一人取り残さないということは難しく、紙などアナログでなければならない人もいる。デジタル化に取り残されても支えてあげられる仕組み作りをしたら上手くいくのではないか。
委員長	紙が良い人も紙でやっていける仕組みも合わせて用意するということか。
委員	資料 3 にあるデジタル基盤の整備やデジタル人材の育成・確保とは具体的には何をやるのか。

事務局	デジタル化を進めるにあたって重要な視点は「市民の利便性向上」と「行政事務効率化」の２つが重要だと考えている。
委員	市役所の手続きで書く紙がなくなるというイメージか。
事務局	紙をなくすというのは難しいと考えているが、例えば家から申請ができるといったデジタル化を取り入れていきたい。
委員	そういったデジタル化を国の交付金で、市が進めるイメージか。
事務局	そうだ。国では地方において人口減少している中でもデジタルの技術を使って市民の利便性の向上を図ることが一番大きな視点となっている。市民の利便性の向上、行政の事務の効率化といった視点を持って進めていきたいと考えている。
委員	委員の役割としては、原案として出していただいた戦略に対してコメントすればいいという立場か。
事務局	これまでの行政経営市民会議もそうだが、市から提示する原案に御意見をいただきたいと考えている。
委員	どの分野で何のデジタル化を進めるかは米沢市の判断になるということか。
事務局	先ほどスケジュールをお示ししたが、10 月にある程度の骨子案をお示しする予定をしており、その中で御意見等を頂戴できればと考えている。

【6 閉会】